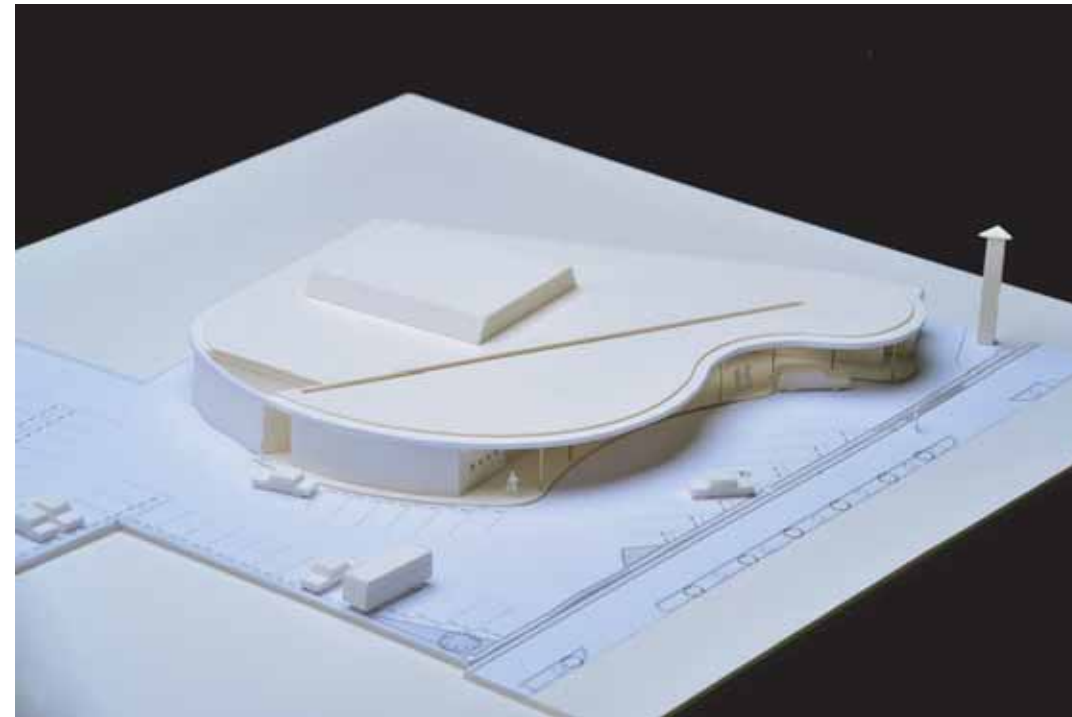
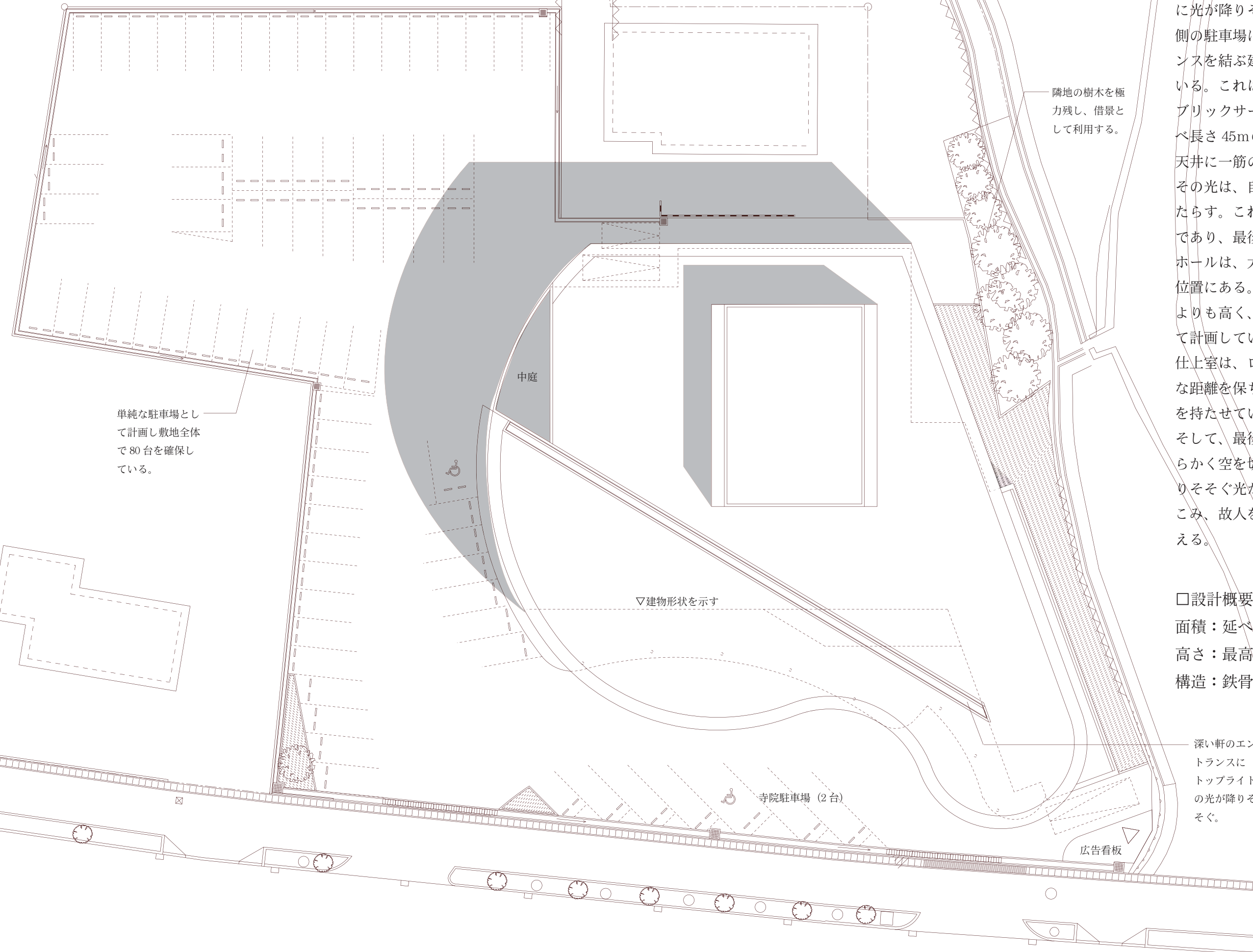


J A おちいまばりグループ葬祭場 設計コンペ
技術提案書





単純な駐車場として計画し敷地全体で80台を確保している。

中庭

▽建物形状を示す

寺院駐車場 (2台)

広告看板

隣地の樹木を極力残し、借景として利用する。

深い軒のエン
トランスに
トッライト
の光が降りそ
そぐ。

「光の道」

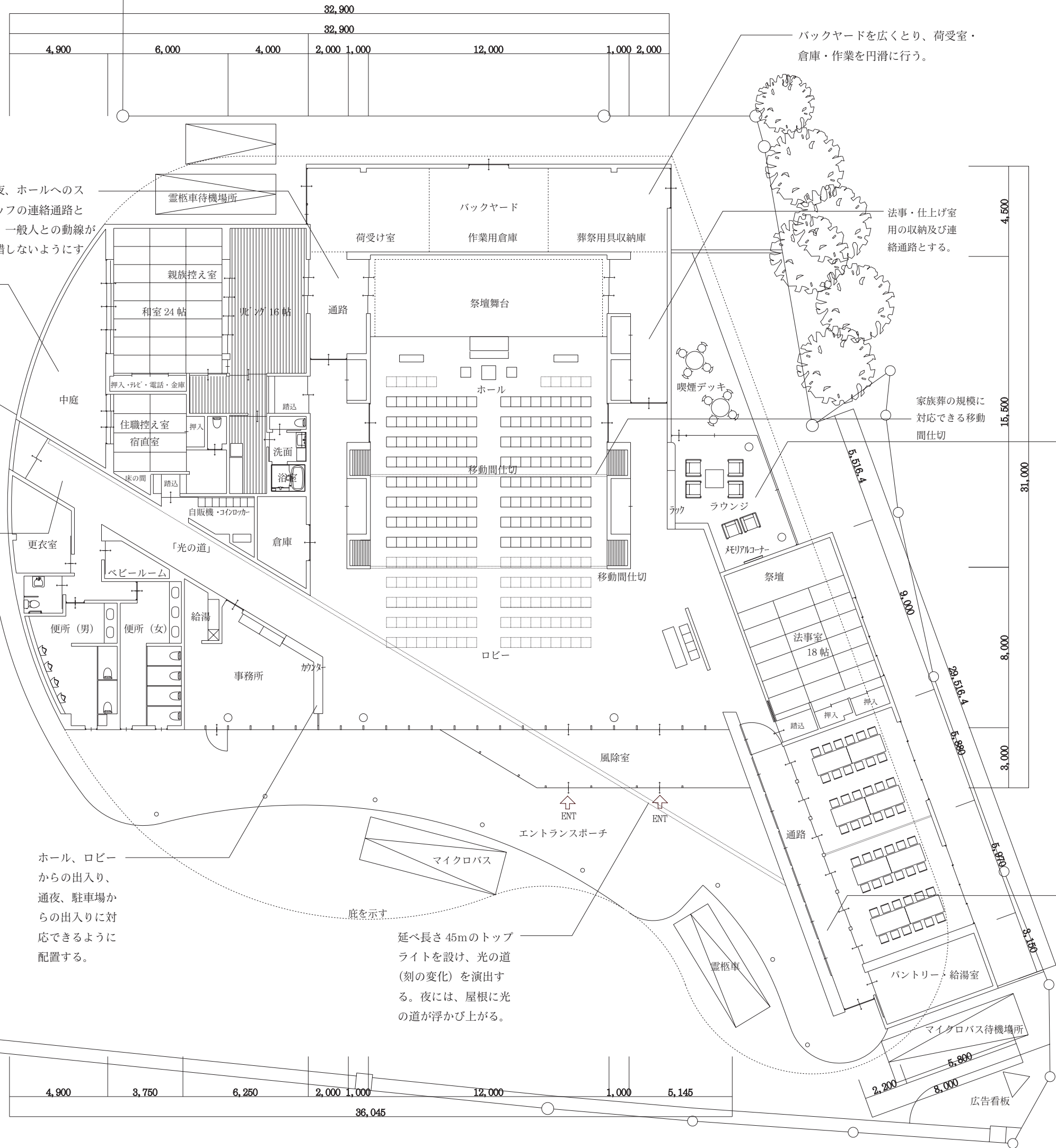
故人を偲ぶ遺族や会葬者たちを深い軒に光が降りそそぎ迎え入れる。敷地北西側の駐車場に面した入り口からエントランスを結ぶ建物を貫通する動線を設けている。これは、通夜の為の単独通路やパブリックサービス通路の機能として、延べ長さ45mの細く長いトッライトが天井に一筋の「光の道」を創りだす。その光は、自然光によって刻の変化をもたらす。これは、故人が人生を刻んだ道であり、最後に描く道でもある。ホールは、大きく柔らかな屋根を貫いた位置にある。天井高をロビーなどの屋根よりも高く、より空に近いイメージとして計画している。親族控え室、法事室、仕上室は、ロビー、ホールと、ゆるやかな距離を保ちつつ配置し、独立した機能を持たせている。そして、最後のお別れの場所として、柔らかく空を切り取った庇と深い軒下、降りそそぐ光が参列者全てを穏やかに包みこみ、故人を送り出してくれるものと考えられる。

□設計概要

面積：延べ面積 1,075.7 m²

高さ：最高高さ 7.000 m

構造：鉄骨造平屋建て



壁で囲まれた中庭を設け、喧騒を遮断し落ち着いた雰囲気を演出する。

駐車場からの副動線とすることでロビー、風除室と一体的に光の道を演出する。通夜時には、ロビーの明かりを極力抑えることで演出効果(光の道)、省エネに役立てる。

通夜、ホールへのスタッフの連絡通路とし、一般人との動線が交錯しないようにする。

バックヤードを広くとり、荷受室・倉庫・作業を円滑に行う。

法事・仕上げ室用の収納及び連絡通路とする。

家族葬の規模に対応できる移動間仕切

北側隣地の樹木を借景とした庭園を設けラウンジと屋外デッキからの眺望を確保した。また、デッキは、喫煙場所としても利用する。

ホール、ロビーからの出入り、通夜、駐車場からの出入りに対応できるように配置する。

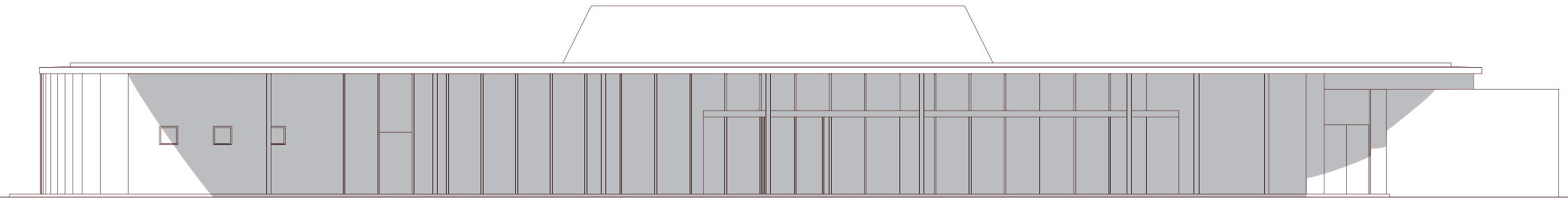
延べ長さ45mのトップライトを設け、光の道(刻の変化)を演出する。夜には、屋根に光の道が浮かび上がる。

仕上げ室への通路として主に使用し、扉を開放することで仕上げ室と一体的に使用可能とする。

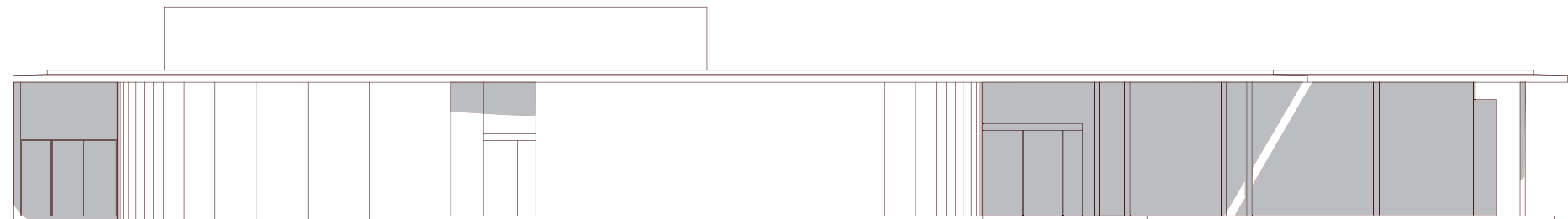
5

03. 立面图 S=1 : 200

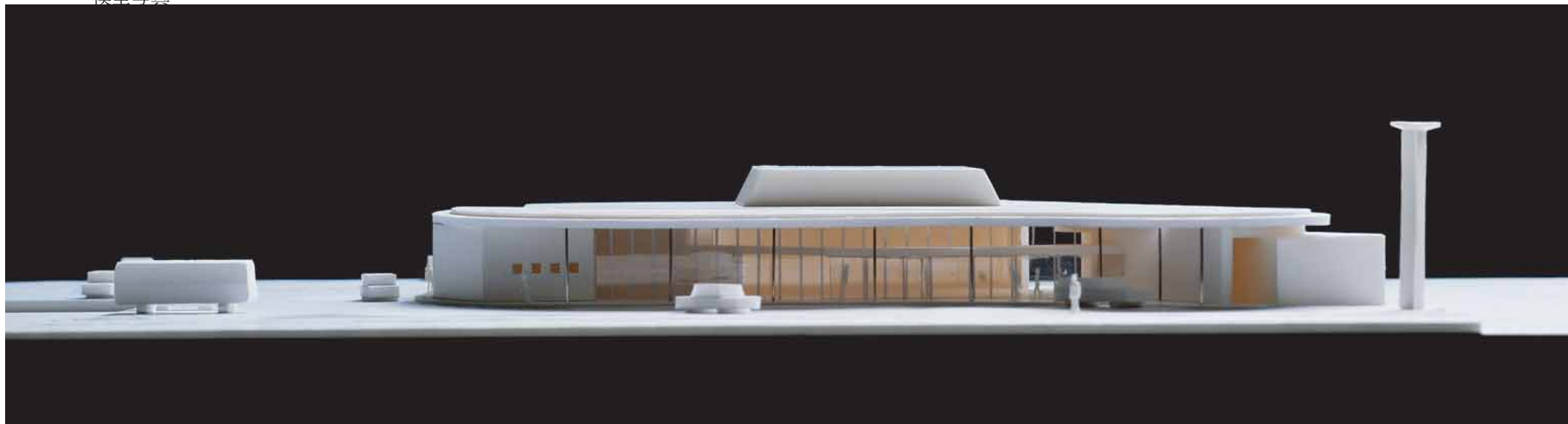
南立面图 (前面道路)



西立面图 (駐車場)



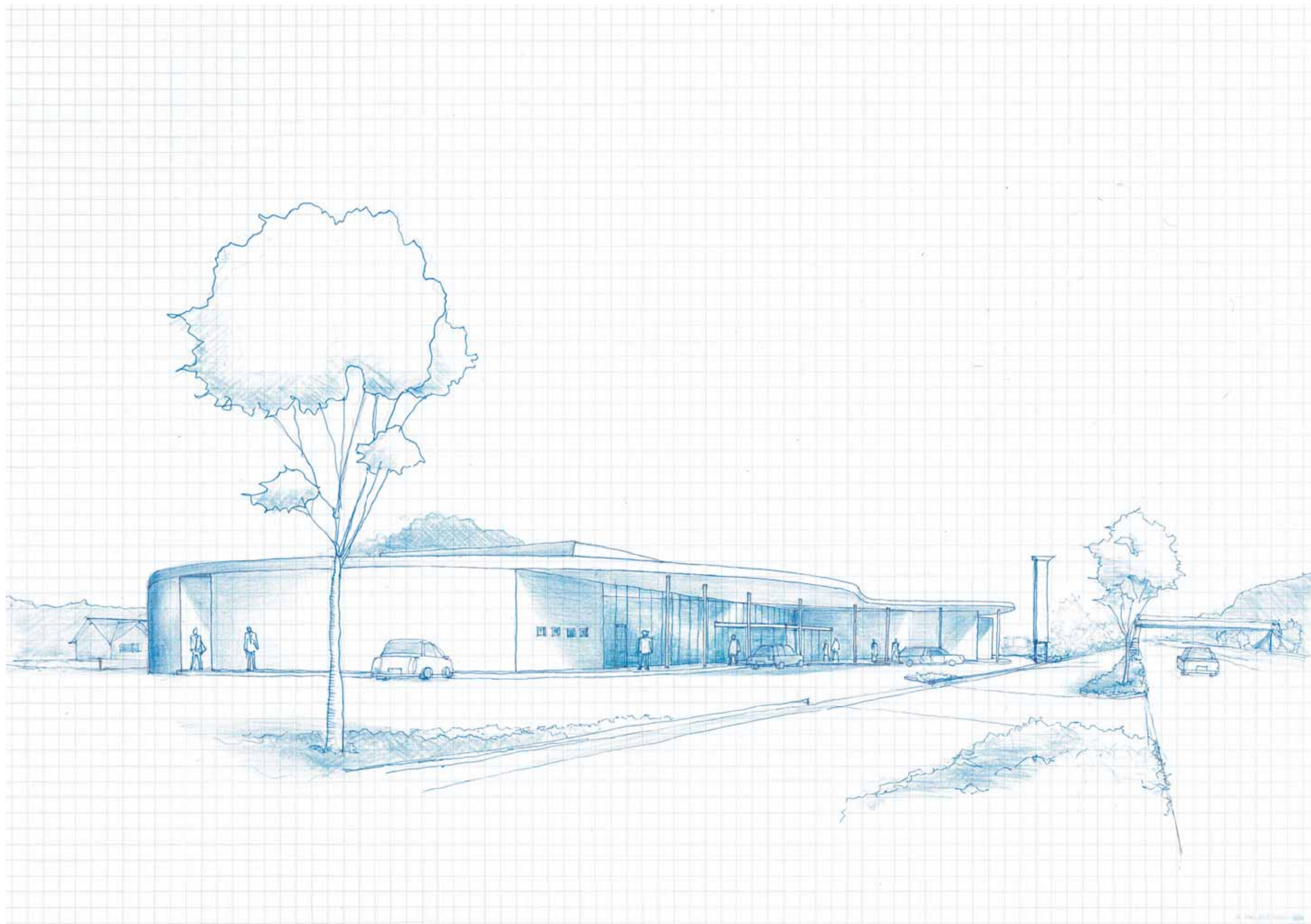
模型写真

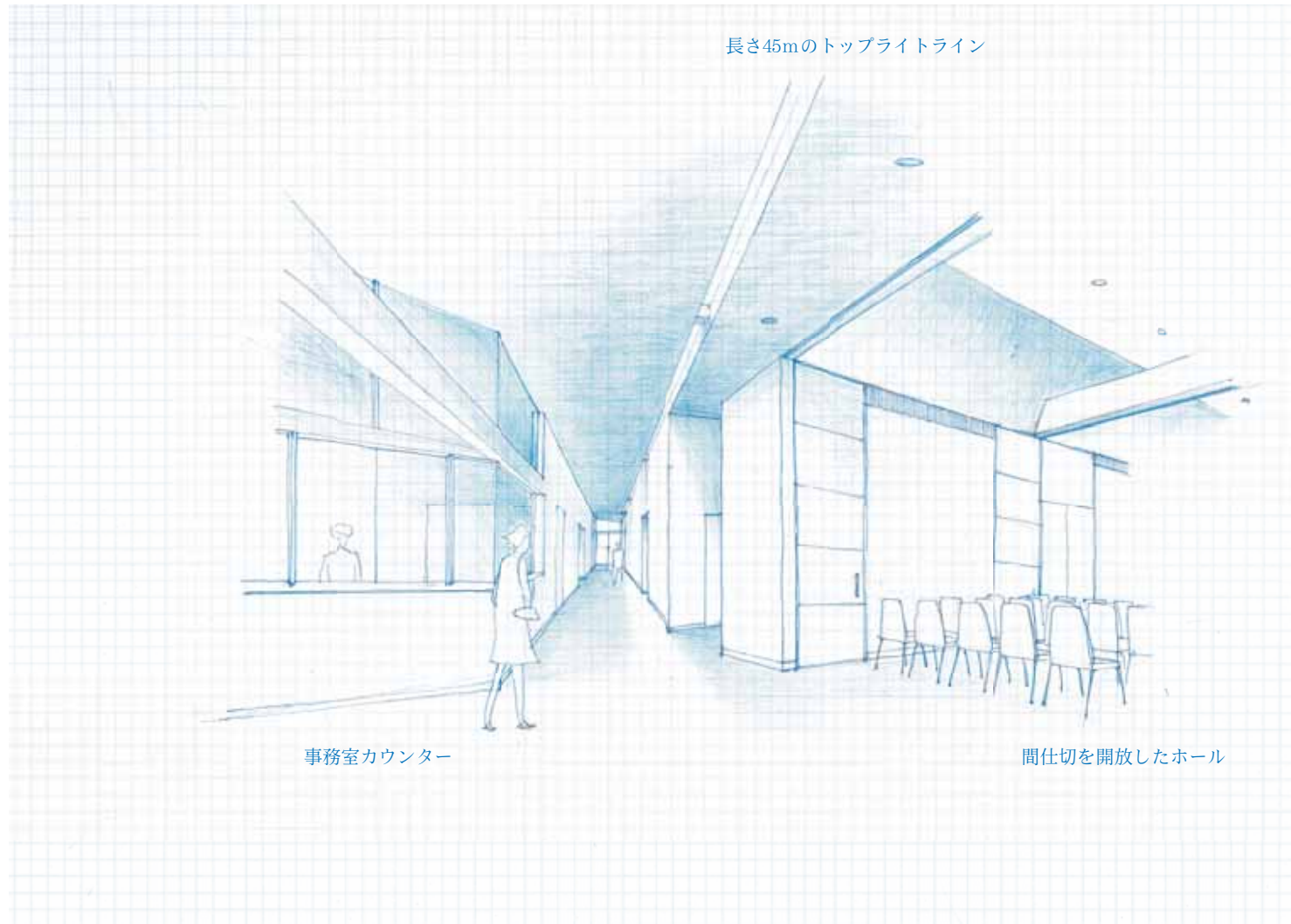


前面道路から

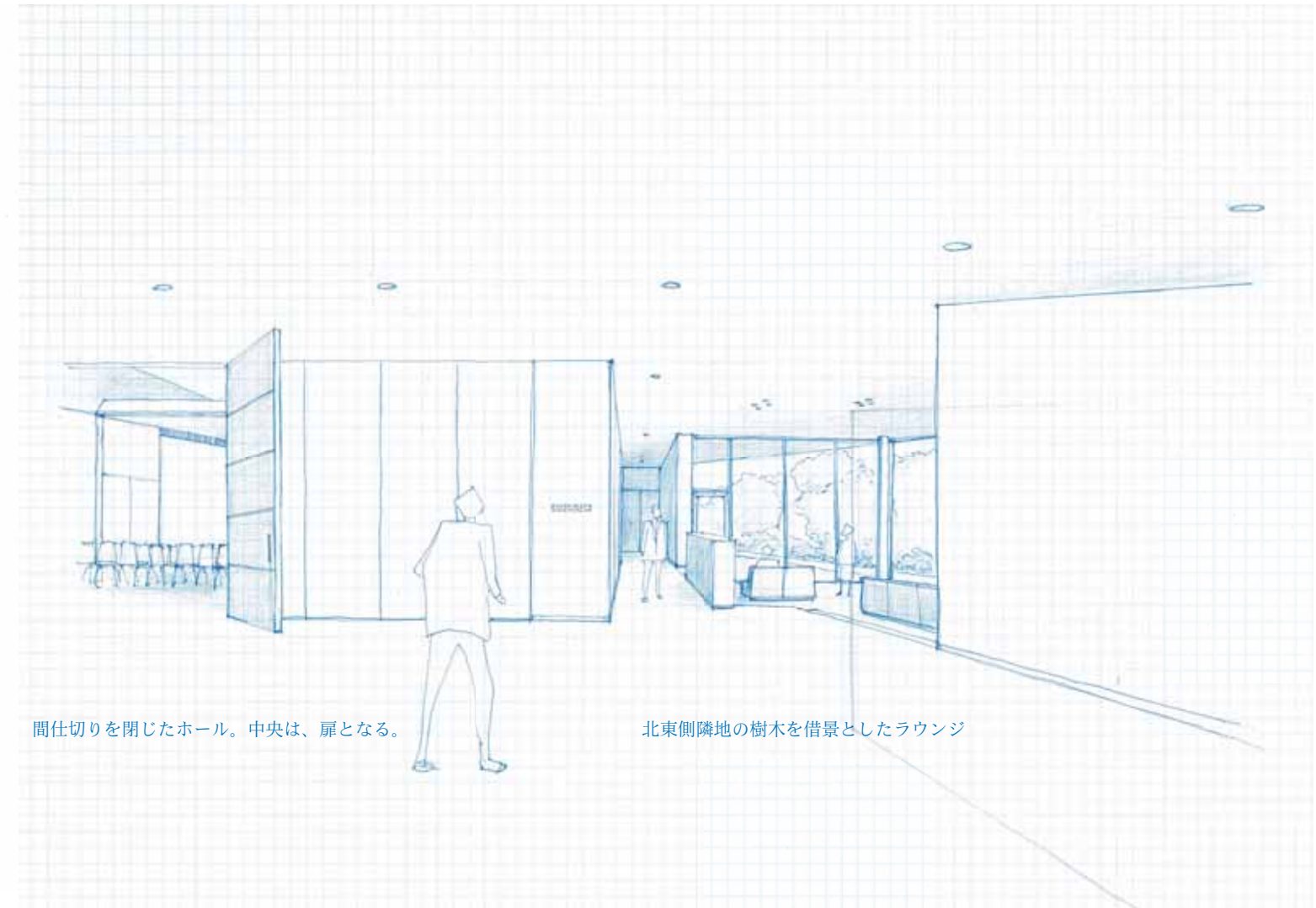


アプローチから





ロビーより光の道を見る



ロビーより北方向をみる